

## 研究教育業績（過去5年間）

### I. 研究業績

#### 1. 主な発表論文

[原著論文]

- 1) Yamaji S., Yokota N., Cai S.Q., Komatsu K., "Pharmacognostical Studies of Salviarum Radices(Part II). Morphological and anatomical characteristics of crude drugs derived from carious *Salvia* plants., *Jpn. J. of Medicinal Res.*, **43**(2),28-41 (2021).
- 2) Yamaji S., Sato T., Cai S.Q., Komatsu K., "Pharmacognostical Studies of Salviarum Radices. The morphological and anatomical characteristics on the Underground part of Seven *Salvia* species., *J. Jpn. Bot.*, **95**(4),220-234 (2020).
- 3) Yamaji S., Yamashita H., Ikeda M., Arai I., Uzu Y., "Comparative Studies of Botanical Pictures on Compartment Ceiling in "Uzu-yakushido" Hall Part (II)," *Ann. Rep. of NPU*, **5**, 14-23 (2019).
- 4) Yamaji S., Itoga S., Yamashita H., Ikeda M., Arai I., Uzu Y., "Comparative Studies of Botanical Pictures on Compartment Ceiling in "Uzu-yakushido" Hall," *Ann. Rep. of NPU*, **4**, 18-24 (2018).
- 5) 新井一郎, 碓谷奈緒美, 山路誠一, 津谷喜一郎, 漢方論文における「漢方処方名ローマ字表記法」(2005)処方名の採用状況, 日本薬科大学教育紀要, **3**, 42-47 (2017).

[著書]

- 1) 木村孟淳, 酒井英二, 牧野利明, 山路誠一 (分担), 新訂生薬学 改訂第9版, 南江堂 (2021)
- 2) 木村孟淳, 酒井英二, 牧野利明, 山路誠一 (分担), 新訂生薬学 改訂第8版増補, 南江堂 (2018)
- 3) 丁宗鐵編著, 山路誠一 (分担), スパイス百科, 丸善 (2018) .
- 4) 木村孟淳, 酒井英二, 牧野利明, 山路誠一 (分担), 新訂生薬学 改訂第8版, 南江堂 (2017) .

[その他]

- 1) 糸数七重(監修), 山路誠一(監修), 週刊朝日 MOOK 『気と血のめぐり漢方 2018』漢方処方事典, 漢方生薬事典(2018).
- 2) 糸数七重(監修), 山路誠一(監修), 週刊朝日 MOOK 『正しく付き合う漢方 2017』漢方処方事典, 漢方生薬事典 (2017).

#### 2. 主な学会発表

[国際学会]

- 1) 山路誠一：日本の漢方医学教育状況和对 covid-19 漢方应用状況：第八期亚洲区域中医药教育高级师资研修会(第8回アジア地域中医薬高等教育教員研修シンポジウム), 2020年12月10日, 天津中医薬大学(天津市), 中華人民共和国.
- 2) 山路誠一：日本の大学薬学部における漢方教育・研究とモンゴル医学への応用について, 「モンゴルと日本ー過去・現在・未来」社会経済教育歴史宗教環境観光についての国際学術会議, モンゴ

ル文化教育大学, 講演集 p. 162, 8月, ウランバートル (2019).

[国内学会]

- 1) 大竹 愛姫, 山路 誠一, 芝野真喜雄, 酒井 英二, 麦門冬の生薬学的研究～特に組織形態について, 日本薬学会 142 年会, 28PO2-pm1-04S, 3月, 名古屋 (2022).
- 2) 村上 喜子, 山路 誠一, 山下 裕, 池田 満雄, 宇津 善博, 宇津薬師堂・格天井色彩画に描かれた植物に関する研究 (6), 日本薬学会 142 年会, 27PO1-am2 60S, 3月, 名古屋 (2022).
- 3) 小川 風香, 藤原 裕未, 山路 誠一, 高野 文英, 野沢 直美, 秩父産キハダの遺伝的多様性に関する研究, 日本薬学会 142 年会(名古屋), 27PO1-am1-15S, 3月, 名古屋 (2022).
- 4) 山口 優花, 山路 誠一, 新井 一郎, 芝野真喜雄, 酒井 英二, ジャノヒゲ属植物の組織形態に関する研究～特に季節的変異について, 日本薬学会 141 年会, 27P01-042S, 3月, 広島 (2021).
- 5) 庄子 菜里, 山路誠一, 山下 裕, 池田 満雄, 宇津善博, 宇津薬師堂・格天井色彩画に描かれた植物に関する研究 (5), 日本薬学会 141 年会, 27P01-299S, 3月, 広島 (2021).
- 6) 小池 敏司, 山路誠一, 渡辺高志, 釣藤鈎の組織形態に関する研究, 日本薬学会 140 年会, 3月, 京都 (2020).
- 7) 吉富 太一, 山路誠一, 徳本廣子, 袴塚高志, 丸山卓郎, イチイ *Taxus cuspidata* の部位別パクリタキセル含量と健康食品として販売されるコウトウスギ製品中の含量比較について, 日本薬学会 140 年会, 3月, 京都 (2020).
- 8) 石原凉多, 山路誠一, 新井一郎, 高野文英, 野澤直美, キハダ属植物の樹皮の組織形態学的研究, 日本薬学会 140 年会, 3月, 京都 (2020).
- 9) 小曾根彩織, 山路誠一, 山下 裕, 田中悠斗, 宇津善博, 宇津薬師堂・格天井色彩画に描かれた植物に関する研究(4), 日本薬学会 140 年会, 3月, 京都 (2020).
- 10) 山路誠一, 高橋直熙, 丸山卓郎, 徳本廣子, 袴塚高志, イチイ属植物由来の生薬の鑑別に関する研究, 日本薬学会 139 年会, 3月, 千葉 (2019).
- 11) 松元信介, 山路誠一, 渡辺高志, カギカズラ *Uncaria rhynchophylla* の茎の組織形態に関する研究, 日本薬学会 139 年会, 3月, 千葉 (2019).
- 12) 篠田夏海, 清水美音, 山路誠一, 新井一郎, 三宅克典, 寺林 進, 酒井英二, 合田幸広, 川原信夫, 飯田 修, 日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究(第8報)～コナラの種内変異(2), 日本薬学会 139 年会, 3月, 千葉 (2019).
- 13) 高橋直熙, 山路誠一, 福田達男, 池上文雄, サジオモダカの塊茎の組織形態に関する研究, 日本薬学会 139 年会, 3月, 千葉 (2019).
- 14) 清水美音, 山路誠一, 新井一郎, 三宅克典, 寺林 進, 酒井英二, 合田幸広, 川原信夫, 飯田 修, 日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究(第7報)～コナラの種内変異(1), 日本生薬学会第 65 回年会(広島), 9月, 広島 (2018).

- 15) 山路誠一, 高橋直熙, 山下 裕, 池田満雄, 宇津善博, 宇津薬師堂・格天井彩色画に描かれた植物に関する研究(3), 第 35 回和漢医薬学会学術大会, 9 月, 岐阜 (2018).
- 16) 山路誠一, 糸賀翔太, 山下 裕, 池田満雄, 宇津善博, 宇津薬師堂・格天井彩色画に描かれた植物に関する研究(2), 日本薬学会 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 17) 大野 眞, 山路誠一, 石内悠美子, 新井一郎, 寺林 進, 酒井英二, 三宅克典, 合田幸広, 川原信夫, 飯田 修, 日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究(第 5 報), 日本薬学会 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 15) 石内悠美子, 山路誠一, 大野 眞, 寺林 進, 酒井英二, 合田幸広, 川原信夫, 飯田 修, 日本薬局方『ボクソク』の生薬学的研究(第 6 報), 日本薬学会 138 年会, 3 月, 金沢 (2018).
- 16) 竹内華織, 山路誠一, 小松かつ子, 本草文献に見られる『何首烏』の記載と基源について, 日本薬史学会 2017 年会埼玉, 10 月, さいたまキャンパス (2018).
- 17) 糸賀翔太, 山路誠一, 山下 裕, 池田満雄, 宇津善博, 宇津薬師堂・格天井彩色画に描かれた植物に関する研究, 日本薬史学会 2017 年会埼玉, 10 月, さいたまキャンパス (2017).

### 3. その他特筆すべき研究業績

- 1) 山路誠一 (研究協力者), 医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス総合研究事業「専ら医薬品」たる成分本質の判断のための調査・分析及びその判断基準・範囲の整備に関する研究 (H30-医薬-指定-005) , 研究代表者・袴塚高志, 300 千円 (2018).

## II. 教育業績

### 1. 担当授業科目

- 1) 2021 年度 生薬学(薬学科 2 年), 生薬学(医療ビジネス薬科学科スポーツ薬学コース 1 年), 現代医療の中の漢方 2 (医療ビジネス薬科学科 2 年), 生薬・漢方実習(2 年), 本草学(4 年), 地域と大学(4 年).
- 2) 2020 年度 生薬学(薬学科 2 年), 生薬学(医療ビジネス薬科学科スポーツ薬学コース 1 年), 生薬・漢方実習(2 年), 本草学(4 年), 地域と大学(4 年).
- 3) 2019 年度 生薬学(薬学科 2 年), 生薬学(医療ビジネス薬科学科スポーツ薬学コース 1 年), 生薬・漢方実習(2 年), 本草学(4 年), 地域と大学(4 年).
- 2) 2018 年度 生薬学(2 年), 生薬・漢方実習(2 年), 本草学(4, 5 年), 基礎薬学実習(1 年, 3 コマ), 地域と大学(4 年).
- 3) 2017 年度 生薬学(2 年), 生薬・漢方実習(2 年), 本草学(5 年), 基礎薬学実習(1 年, 3 コマ).
- 4) 2016 年度 生薬学(2 年), 生薬・漢方実習(2 年), 医療系実習(3 年), 本草学(5 年), 基礎科学実習(1 年, 3 コマ).

### 2. その他特筆すべき教育業績

- 1) 山路誠一ほか, 植物観察会世話人および講師, 日本生薬学会関東支部会主催, 日本薬剤師会集合研

修，飯能市高麗ユガテ，2021年9月．

- 2) 山路誠一ほか，植物観察会世話人および講師，日本生薬学会関東支部会主催，日本薬剤師会集合研修，青梅市宮ノ平，2021年9月．
- 3) 山路誠一ほか，植物観察会世話人，日本生薬学会関東支部会主催，日本薬剤師会集合研修，五日市横沢入，2019年6月．
- 4) 山路誠一ほか，植物観察会世話人，日本生薬学会関東支部会主催，日本薬剤師会集合研修，青梅市石神，2018年10月．
- 5) 山路誠一ほか，植物観察会世話人，日本生薬学会関東支部会主催，日本薬剤師会集合研修，逗子市鷹取山，2017年10月．